A表現ア、イ（ア）（イ）、ウ（ア）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 音楽Ⅰレポート | | 《この道》を歌おう | | 教科書  『高校生の音楽１』 | | P.18 日本語で歌おう  P.19 《この道》  P.142 日本における西洋音楽の展開  P.157 用語と記号 | | |
| 提出日 | 月　　　日 | 氏名 |  | 得点 |  | | 評価 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  | （各2点＝32点） |
| 用語・記号 | 名称 | 意味 | 用語・記号 | 名称 | 意味 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（2点）

|  |
| --- |
|  |

（各１点＝８点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |
| **エ** |  |
| **オ** |  |
| **カ** |  |
| **キ** |  |
| **ク** |  |

（各１点＝２点）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

1. **《この道》（教P.19）の詩を朗読して、次の問いに答えよう。**
2. **《この道》の詩を完成させよう。［主］**
3. **詩についての説明として正しいものを次のなかから２つ選ぼう。［知］**

ア　「ああ、そうだよ」の部分を除くとほとんど七五調で、詩のリズムに規則性がある。

イ　散文調で、詩のリズムに規則性はない。

ウ　明るい未来への希望が描かれている。

エ　思い出をもとにした情景が描かれている。

1. **《この道》の楽譜について、次の問いに答えよう。**
2. **「用語と記号」（教P.157）を参考に、次の用語・記号の名称と意味を答えよう。［主／知］**
3. **曲についての説明として正しいものを次のなかから１つ選ぼう。［思・判・表］**

ア　非常に速いテンポで、情熱的である。

イ　速いテンポで、活気にあふれている。

ウ　ゆったりとしたテンポで、静かで落ち着いている。

エ　重々しいテンポで、悲しみに満ちている。

この（ ア ）はいつかきた（ ア ）、  
ああ、そうだよ。

（ イ ）の花が咲いてる。  
  
あの（ ウ ）はいつか見た（ ウ ）、  
　ああ、そうだよ。

ほら、白い（ エ ）だよ。  
  
この（ オ ）はいつかきた（ オ ）、  
　ああ、そうだよ。  
お母さまと（ カ ）で行ったよ。  
  
あの（ キ ）もいつか見た（ キ ）、  
　ああ、そうだよ。

（ ク ）の枝も垂れてる。

（各2点＝8点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |
| **エ** |  |

（各１点＝２点）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

1. **「日本語で歌おう」（教P.18）を読み、次の問いに答えよう。**
   1. **次の空欄に記入して文章を完成させよう。［知］**
   2. **ガ行の発音についての説明として正しいものを次から２つ選ぼう。［知］**

ア　ガ行には、通常の濁音と、鼻を響かせて発音する鼻濁音がある。

イ　語頭、数字、強調したい時は鼻濁音、それ以外は濁音になる。

ウ　《この道》の詩にある「花が咲いてる」の「が」は鼻濁音である。

エ　「学校」の「が」は鼻濁音である。

1. **ピアノ伴奏に合わせて《この道》を歌い、難しいと感じた部分とその理由を書こう。［主／技］**
2. **「ああ、そうだよ」の部分を、それぞれどのように歌いたいか、書こう。［主／思・判・表］**
3. **《この道》の楽曲解説（教P.19）と「日本における西洋音楽の展開」（教P.142）を読み、次の問いに答えよう。**
   1. **次の空欄に記入して文章を完成させよう。［知］**
   2. **日本における西洋音楽についての説明として正しいものを次から２つ選ぼう。［知］**

ア　日本に本格的に西洋音楽が導入されたのは平安時代のことである。

イ　滝廉太郎は日本初の本格的な西洋音楽の作曲家で、ドイツに留学した。

ウ　宮城道雄は《ゴジラ》などの映画音楽を担当し、生命力あふれる作品を残した。

エ　武満徹は独学で作曲を学び、多様な分野で作品を残し、国際的にも評価された。

日本語は基本的に、言葉の一音一音が同じ（ ア ）、同じ（ イ ）で発音され、音の（ ウ ）ではなく（ エ ）によってアクセントを示す。

ピアノ伴奏



（各2点＝12点）

|  |  |
| --- | --- |
| **ア** |  |
| **イ** |  |
| **ウ** |  |
| **エ** |  |
| **オ** |  |
| **カ** |  |

（各１点＝２点）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | （各５点＝20点） |
| １回目 | ２回目 | ３回目 | ４回目 |
|  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
|  | （各６点＝12点） |
| 難しいと感じた部分 | 理由 |
|  |  |

《この道》は（ ア ）年に作曲され、詩は（ イ ）が書いた。曲を付けたのは（ ウ ）である。彼は、日本語の抑揚に沿った（ エ ）を残したり、日本初の常設（ オ ）の設立などに尽力したりし、日本における（ カ ）の礎を築いた。